

学校点描

休日に、車を走らせてこの目で確かめたい場所に行きました。

《M中学校》

NO 9 H28. 11. 28

担当：教頭

合唱コンクールや2年生の修学旅行（東京都）、3年生の上級学校訪問（仙台市）と、大きな行事が終りました。学校だよりや学級だよりから、生徒たちは、それら体験を通して、1位になること以上のものがあることや、ルールを守りながら行う旅行について等大切なことを学んだことが伝わったと思います。すべて一生の宝物です。いや宝物にしてほしいです。

22日の早朝5時59分に福島県震度5弱の久しぶりに大きな地震が発生しました。二階で本を読んでいた私は、ゆっくり長く揺れている間、どうしてもあの4年前の東日本大震災を思い出しました。揺れがおさまるとすぐに学校に車を走らせます。途中、用務員の二戸さんから、ボイラーに異常がないことなどの連絡が入りました。JRに電車の運行状況を聞くと、今後遅れて運行する予定であることを教えてもらいました。すぐにバスの代行願いを頼むことにしました。結局、うまく連携がいかずにバスを代行してのJR通生の輸送は遅れてしまいました。判断が正しかったのかどうか、申し訳ない気持ちと同時に振り返って考えています。そしてもうひとつ、もし、登下校の途中で大地震が発生したら、本校の生徒たちはどんな行動をとるのだろうと想像しました。

歩いている途中のとき、電車の中のとき、駅や停留所で待っているとき、自分で判断して、自分の命を守る行動を選択できるだろうか。

想定外の事態のときこそ、生きる力が問われます。仲間通し話し合っって次の行動をどうとるべきかを考える力も、大切な宝物となります。ただ、オロオロ指示を待っているだけでは、自分の命を守ることにはできないときがあることは、日本人なら誰もが学んだはずで。

いざというときに家族が落ち合う場所、連絡先を記憶しているかなど、家族の中での話し合いが必要です。何も無いところから判断はできません。

南三陸町

今、南三陸町の旧防災対策庁舎前に立っています。

なんとしても、一度来てこの目で確かめたくて、4年を経た今ようやくたどり着きました。プレハブを改造したコンビニで車を駐車して町を眺めます。出発前に洗車したはずの自分の車ですが、振り返ると真っ白です。行き来するトラックの尋常のない数で、つねに白い砂ほこりが舞っているためです。コンビニは工事現場の人が朝食・昼食・夜食で使うためにつくられたようです。地図では、旧防災対策庁舎から海は目と鼻の先のはずですが、視野に海は入ってきません。あっちこっちに、津波対策のためか、土の山が築かれています。南三陸町に来るまでは、車で国道45号線を走ってきました。途中、石巻を通りプレハブの仮設住宅がまだまだ立ち並ぶ光景を見て、そこから1時間くらいかかりました。車で来てみてわかったのは、ここ南三陸町に入ると、急激に起伏が大きくなり、町に近づくにつれすり鉢状の底のほうに下っていくことです。海がどんどん高くなってきました。

「6メートルの津波が予想されます。異常な潮の引き方です。逃げてください」と、最後までこの防災対策庁舎に残って町民に呼びかけたのが24歳の町職員の女性、遠藤さんと三浦さんでした。交互に防災無線を30分も続けたころ、津波は庁舎に迫りつつありました。「もう駄目だ。避難しよう」。上司の指示で遠藤さん、三浦さんたちは、一斉に席を離れたそうです。

その後、遠藤さんや三浦さんの姿は誰も目撃していません。しかし、南三陸町の住民約 1 万 7000 人のうち、半数近くが避難して命拾いしました。

その後、三浦さんの友人に送ったメールから当時の状況がより詳しくわかってきました。

2011/3/11 15:03

6 メーターの津波きます

頑張って生きます

2011/3/11 15:27

よかった～!!

大津波きた!!

今役場の防災庁舎の屋上ですか、流されたらどうしよう><

私の車は流されるもようです



6 mの津波は、実際は1 5 m以上だったのです。

お二人は、今や美談に語られています。もっとも大切なのは、最後まで生きようとしていたことです。メールから、がんばって生きよう、生き抜こうとしていたことがわかります。

あれから4年。私たちは命の尊さを学んだはずなのに、いまやこの国の人、あのときの気持ちを少しずつ忘れてしまいつつあるように感じます。駆け抜けるトラック、プレハブの仮設住宅とコンビニ、巻き上がる粉塵。

二人の若い町職員の行動から私たちは、職務を全うしたという美談に目をやるのではなく、自分の命を最後まで希望をもってつなごうとした人間の強さを学ぶべきなのです。

目の前の赤い鉄骨むき出しの廃屋には、最後まで必死に生きようとした人々の姿が映りました。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp